

G・O・R工法

ゼオライトと森林土壌微生物を活用した法面緑化工法

種別	登録技術
番号	A1301
区分	工法

適用工種
(キーワード)

LEVEL1	共通
LEVEL2	法面工
LEVEL3	植生工
LEVEL4	植生基材吹付

キーワード

品質向上	○
安全性向上	
環境負荷低減	○
コスト縮減	○
リサイクル性向上	○

従来工法

植生基材吹付

技術の概要

本技術は、植生基材吹付工において生育基盤材に生木材を使用することで建設工事や周辺地域における発生木材の再利用促進につながる技術である。
伐採材等の発生木材を現場内において破碎処理、または再資源化施設においてチップ化した主材料に土壌有用微生物と天然ゼオライトを利用した緑化補助材を添加することにより、チップの堆肥化工程を必要としない緑化吹付工法である。
緑化基礎工の選択や主材料の調達方法に応じて各種の施工Optionを選定できる。

Option1

現地発生資材有り
【現地製造型】

現地破碎工



地域再生資源有り
【調達型】

再資源化施設等

Option2

現地発生材及び再生資源無し
【工場製造型】



チップ資材製品
アルティマファイバー

Option3

リサイクル型植生基材吹付
【市場単価対応】



リサイクル型基盤材
アルティマソイル



微生物緑化補助材
アルティマベース

Iタイプ
(ラス有り)
IIタイプ
(ラス無し)

チップ基材吹付

高分子樹脂系結合剤
鉱物系固化材

植生基材吹付



【GOR Option1 IIタイプ】



【施工後4年経過】

単価
・
歩掛

設定	—	—	
参考	○	島根県HP(技術管理課 しまね・ハツ・建設ブランド技術情報「早見表」参照)	
実績	H28	15件	朝山大田道路波根地区改良第10工事 (国土交通省松江国道事務所)
	H29	18件	窓山(新屋工区)林道開設(緑化)工事 (鳥取県西部総合事務所日野振興センター)
	H30	14件	林道開設事業(森林管理道)宮本聖谷線第1工区道路工事 (島根県出雲県土整備事務所)

他機関評価

国土交通省NETIS:(CG-120011-VR)、国土交通省震災復興支援サイト

問合せ先

会社名	今岡工業株式会社
TEL	0853-23-7778
E-mail	gor001@imaokakogyo.co.jp

技術のURL

<http://www.gor-method.jp>